

学校だより

めざす児童像

- 自ら学び、考える子
- 温かい心をもつ子
- 豊かに表現する子

平成27年2月13日 NO. 16

今年度の後期学校評価特集号

今学期もあと一ヶ月近くとなりました。授業参観、スクールフォーラムにご参加いただきありがとうございます。その際に発表いたしました学校評価のまとめをご報告いたします。

12月に行った学校評価（児童・保護者アンケート、教師自己評価）の結果について評価結果を分析し、これから取り組んでいくことを「確かな学力」「豊かな心の育成」「健全な心と体の育成」の面から検討し、学校外の学校関係者評価委員（学校評議員並びに育友会役員の皆様）の方々を交え、具体的な対策を考えました。その際に頂いたご意見を真摯に受け止め、指導方法を工夫しながら教育活動に当たっていきたくと思います。またその内容を教職員で共通理解しました。三学期の残り、来年度以降の教育活動で取り組んでいきます。



<確かな学力の形成>

| | 重点項目 | 児童の実態 | 具体的な取組 |
|------|------------------------------|--|--|
| 授業規律 | 「白峰っ子の学び方10のやくそく」の定着を図る | ・チャイムと同時に行動することが確実にできるようになってきました。また、学習用具の準備も向上しました。 ・話し方・聞き方等の学習規律はまだ十分ではありません。 | 「白峰っ子の学び方10のやくそく」の中で「最後までではっきり話す」「話し手を見てしっかり聞く」を徹底します。 |
| 表現する | 自分のことばで表現することができる | ・ペア学習(2人などで話し合う)を通して、相手を意識して表現することが少しずつできる児童が増えてきました。 | ① 自分の思いや考えをノートに書き、書いたことをもとに表現させます。 ② 授業時間内にまとめやふり返りの時間を持ち必ず表現する機会を保障します。 ③ ペア学習やグループ学習を行い発表の機会を増やします。 |
| 書く力 | 6つの実践評価項目を意識した「書くこと」の指導に取り組む | ・書く事への抵抗感は少なくなってきたものの学力調査であきらかになった条件をもつ記述式の問題にはまだ課題が残ります。 | ① 上記同様、授業のまとめやふり返りを書く時間を必ず設定した授業づくりに努めます。 ② 全校で原稿用紙を使用した条件つき作文指導や日記・生活作文指導等に取り組みます。 ③ 書く観点を明確にする指導を徹底します。 ④ 水曜の朝学習は「書く」プリントに取り組みます。 |

【評価結果に対する対策】

授業規律：授業規律は、チャイム行動や学習用具の準備など確実にできることが増えてきましたが、個人的な課題が浮き彫りになってきています。学校での「学び方10のやくそく」の継続した指導と共に、学習用具の準備などご家庭での連絡帳の確認等もお願いします。

表現する：ノート指導については友達の「良いノート」(見本)などにより向上していますが、相手意識・目的意識をもった表現につなげる指導が不十分です。ペア学習やグループ学習を行い発表の機会を増やしました授業中に話し合う機会を多く持ちます。
また、学んだことを文や図にかいてまとめることを今まで以上に意図的に指導します。自分のことばで表現する指導については今まで同様、引き続き指導を工夫していかなければなりません。それを発表・交流につなげ、「話し方・聞き方」のめざす姿を掲示し、指導と正当な評価により頑張りを認めます。

書く力：授業の終わりのまとめ・ふり返りを書かせることは以前から意識して取り組んでいます。しかし、条件を満たす作文についてはまだ不十分です。朝学習や家庭学習を活用した継続的なミニ作文指導を行い、日々の生活作文指導も大切に取り組みます。また、水曜日の朝学習はこれまで同様、内容を工夫し「書く」活動に取り組みます。書く活動の作品や作文はファイリングして次の学年に持ち上がります。自分の成長を目で確かめて実感したいと考えます。

<豊かな心の育成>

| | 重点目標 | 児童の実態 | 具体的な取組 |
|--------|---------------------------|--|---|
| あいさつ | 自分から進んであいさつする子を育てる | ・前期に比べ、自分からあいさつができる子やあいさつを返してくる子が減りました。定着や広まりがほしいと思います。 | ① 教師から積極的に声をかけ、できている児童を褒めます。家庭への啓発も重視します。 ② 生徒指導主事・なかま委員会を中心に実のあるあいさつ運動に取り組みます。子どもどうしが気軽に、当たり前にできる環境をつくります。 |
| 思いやり | 自他を思いやれる子を育てる | ・現在不登校の児童は0です。 ・「自分のルール」で友達に接し、言葉づかいや態度が乱暴になることがまだまだみられます。 ・相手の心を考えない「ちくちく言葉」も聞かれます。 | ① こまめに児童の実態を把握し、早めに面談など個別指導を行い、早期に対応します。そして誰もがすごしやすい学校にします。 ② 道徳・あいさつ運動・人権週間・各教科・行事等全教育活動で思いやりの心を育てます。 ③ 教員自身が言葉遣いに敏感になり、ふわふわ言葉をたくさん使います。 |
| 感性を豊かに | 地域素材（人・こと・もの）を活用した学習に取り組む | ・地域学習にふさわしい素材を地域の方々がたくさん教えていただきました。踊り、資料館、見学、絵画、俳句などどれも子ども達の宝物になりました。 ・読書量はやや伸び悩んでいます。 | ① これまで同様、地域の方を講師とした学習を工夫・展開します。 ② 良書の紹介など啓発活動とともに、読書カードの記入や本の持ち帰りにより、家庭での読書機会を増やします。 |

【評価結果に対する対策】

あいさつ：今まで以上に家庭・地域においても気持ちの良いあいさつができるよう、学校での取り組みだけでなく、保護者と連携した取り組みを行います。

思いやり：児童一人一人と話す機会を大切にする。「いじめを許さない校内体制」を引き続き形成していきます。言葉づかいに気をつけ、人を傷つけない言動に心がけるよう指導を徹底します。

感性を豊かに：地域の『人・こと・もの』の有効な活用をさらに進めます。朝読書の習慣はついてきました。今後は家庭での読書の機会や図書館の貸出冊数を増やします。そして質の向上を図っていきます。

<健全な心と体の育成>

| | 重点目標 | 児童の実態 | 具体的な取組 |
|------|--------------------------|---|---|
| 生活習慣 | 規則正しい生活習慣の形成に努める | ・早寝・早起き・朝ご飯の生活リズムができている児童が多くいます。ただ、ゲーム等で遅寝の実態は変化ありません。 ・学校における身の回りの整理整頓は向上していますが、学校内のきれいさにかげりが見られます。 | ① 個人の生活時間の実態を把握し、見直しなど家庭と連携した指導を行います。 ② 筆箱・机の中・教室の整理整頓を定期的に学級全体で確認します。ご家庭でも筆箱の中味や下敷きなど学習用具をご確認下さい。また、「割れ窓理論」などの啓発を行います。 |
| 力の向上 | 体育の時間や休み時間に進んで体を動かす子を育てる | ・体育の授業、休み時間を問わず元よく遊ぶ児童が多くいます。スキー授業にも積極的に取り組み、技術が向上した児童がたくさんいます。 ・柔軟性や瞬発力の向上については継続して指導します。 | ① 体育の授業では十分な運動量を確保し、引き続き柔軟性や瞬発力を高める運動を多くします。 ② 特定のスポーツだけでなく、少人数でもできる運動遊びや多様な動きを啓発します。そして全校に広めます。また「いしかわボチヤレ」に挑戦します。 ③ 縦割り活動で多様な動きに触れさせます。 |

【評価結果に対する対策】

生活習慣：規則正しい生活については、ご家庭の協力のおかげでほぼできています。身の回りの整理整頓や学習用具の準備については、個人差が大きく表れています。引き続きご家庭と連携して定着するよう徹底を図りたいと考えます。ご協力をお願いします。

体力の向上：体育の授業だけでなく休み時間も積極的に体を動かす子が多くいます。特に縄跳びにがんばりました。縦割り遊びを利用して多様な動きや仲間作りを継続して行います。本校独自の教育課程であるスキー授業(アルペンスキー)やクラブ活動(クロスカントリースキー)では積極的に参加し技術の高が見られる児童が多くいます。来年度も継続します。

